

梵珠だより

第127号

青森県立自然ふれあいセンター機関誌

ニホンザル

発行／青森県立自然ふれあいセンター 〒038-1301 青森県青森市浪岡大字大釈迦字沢内沢1-1
TEL 0172-62-4527 FAX 0172-62-8510 URL <http://www.bonjyu-furesen.info/> メールアドレス bonjyu@jomon.ne.jp

行事レポート

●新春梵珠山登山

1月7日(日)



●少年自然探検隊(冬)in梵珠山 ①

1月28日(日)



●少年自然探検隊(冬)in梵珠山 ②

1月28日(日)



●梵珠山雪下ろしツアー

2月4日(日)



●梵珠山アニマルトラッキング

3月3日(日)



●硬雪トレッキング(ブナ岱～梵珠山)

3月10日(日)



● ヤマツツジ

齋藤 信夫 (青森自然誌研究会)

2022年5月17日(水) 梵珠山へ行く。晴天である。山々はますます賑わっている。エゾハルゼミの鳴き声も聞こえる。早春に次々と花を咲かせていた群生のカタクリ、キクザキイチリンソウなどの花期は過ぎ、今ではユキザサやマイヅルソウ、チゴユリ、ニリンソウの花が目立つようになっている。色彩の変化からすれば有色花から白色花への移行ともいえようか。この時期の梵珠山はブナの新緑ラッシュも一段落し、初夏へ向け、いろんな草木が花を咲かせようとしている。

近くの落葉広葉樹林の林床の、高さ2~3mの位置に朱色の塊が見えた。そこは、小さな尾根沿いの上部斜面ともいえる場所で、結構日当たりの良い場所である。色からして、その花がヤマツツジであることはすぐに察しがついた。

ヤマツツジといえば、大学時代、入学してすぐの頃の散策を思い出す。近くの丘陵でワラビのシーズンにヤマツツジを見た記憶である。そのため、花暦としては、私にはワラビとヤマツツジの季節は重なっている。

ところで、考えてみると、ヤマツツジの花をじっくり観察したことはないし、葉の特徴を丹念に調べたこともなかった。植生調査は季節と関係なく、調査枠内の生育植物をすべてチェックするので、自分なりの把握の仕方を準備しておかないと対応

は難しい。そのため花を終えた後のヤマツツジを同定するにはいつも苦労していた。

ヤマツツジはやや乾燥気味の場所に生えていることが多いといわれる。梵珠山でも全くその通りで、前述のような日当たりのいい尾根筋などで対面していた。この日はサワグルミの道とマンガンの道でヤマツツジを見かけた。ただ、花との対面はマンガンの道だけで、サワグルミの道では蕾状態だった。2つの道ではヤマツツジを取り巻く環境条件にちょっとした違いがあるのだろうか。微妙なものである。

ヤマツツジといえば、2~3年ほど前に、つがる市のベンセ湿原の端で遭遇したことがあった。通常、湿原に立ち入るときにはヤマツツジの花色は頭から抜けているものだ。ただ、その時は視界に朱色が飛び込んできたので、「おや?」と思った。とりあえず確認しようと思い、その色に近づき、花を見た。結果、確かにヤマツツジだった。そこはベンセ湿原とはいえ、木道が敷かれている一帯よりもさらに西側のクロマツ林と湿原の境界付近だったので、極端に湿生な場所ではないのだろう。樹高も2mはあったので、結構な樹齢かもしれない。先入観は禁物であることを改めて感じた場面だった。



咲きそろったヤマツツジ
(2022年5月17日)



動きだしたヤマツツジの花芽と葉芽
(2023年4月18日)

生物暦 (2023年)		4月											☀️☁️☔️: 天気																		植物	野鳥	動物	昆虫	は虫類・両生類
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日					
観察できたもの	マルバマンサク	キジバト・ノスリ	キセキレイ・カワラヒワ	アオゲラ・コハクチョウ	シジュウカラ・コガラ	ノスリ・ミンサザイ	ミスバシヨウ・マヒワ	カワラヒワ・シジュウカラ	カタクリ・キクザキイチリンソウ	ミスバシヨウ・フクジュソウ	ニホンザル・ヤマアカガエル	キセキレイ	エンレイソウ・ニホンザル	アオサギ・カシラダカ	キジバト・アオゲラ	ベニマシコ・カシラダカ	フユシャクガ	キツネ	キセキレイ	シジュウカラ	カワガラス・ノジコ	ヤマドリ・アオゲラ	カタクリ	カマシロ	スミレサイシン・オオバキスミレ	シユンラン・コヨウラクツツジ	カモシカ・キクガシラコウモリ	エナガ・シジュウカラ	ムラサキヤシオ・オオカメノキ	ミスバシヨウ・シラネアオイ	キクザキイチリンソウ・シラネアオイ				
天	☁️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☁️	☀️	☔️	☁️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☁️	☁️	☀️	☀️	☁️	☀️	☀️	☁️	☀️					

● 梵珠の野鳥

針生 倅吉（日本野鳥の会青森県支部顧問）

『クマタカ』（角鷹）

クマタカは、梵珠山の生態系ピラミッドの頂点に位置し、日曜観察会でも時折り観察されています。

体長70～83cm、翼開長138～169cm、体重2～3kgの大型猛禽類で、メスはオスより大きく、津軽地方ではクマダガの地方名があります。

また、成鳥の目はオレンジ色で幼鳥は青灰色です。

○生活サイクル

1月～3月中旬…造巢期

3月中旬～5月中旬産卵を経て…抱卵期

5月下旬にかけて孵化し～7月下旬…巣内育雛期

8月上旬に巣立ち～11月中巣外育雛…家族期

11月中旬～12月…求愛期

○狩り行動

狩りの方法は、主に林縁部などの木に止まって獲物を待ち、見つけると急襲する「止まり型」です。

また獲物は、森林に生息する様々な生き物で、主にノウサギ、タヌキ、イタチ、ヤマドリ、ヘビ類等です。

○営巣木

主にスギ、カラマツ、キタゴヨウ等で、高木で上部に太目の枝がある木が利用されています。

○誇示行動（ディスプレイ）

誇示行動には2種類あり、敵意を表す威嚇や追い出し、縄張防衛行動と、求愛を表すつがい形成や繁殖に繋がる行動があります。

主な誇示行動としては、V字飛行、波状飛行、脚下げ急降下、つれだち飛行、重なり飛行、足がらめ飛行、枝落とし飛行、バタフライ飛行、並び止まり、誇示止まり等があり、求愛期や造巢期に多く見られますので2羽のクマタカを確認したらじっくり観察して下さい。

「賢いクマタカ（?）」

青森市の東部に位置する東岳で、採石場の拡張計画に関するアセスメント調査を行う機会がありました。対象鳥種はクマタカで、観察定点は東岳の東斜面の火薬庫の脇です。頂上尾根を背にして朝から夕方までの調査でした。現場では、毎日15時頃に翌日の採石作業のためにダイナマイトで発破作業が行われ、観測定点にも発破音と共に振動が伝わって来ます。その直後、必ずどこからともなくクマタカが出現し、対岸の斜面に突っ込んで行くのです。発破の音と振動に驚いて出現した鳥類や小動物を狩るための行動です。

土日祝日は休みでも平日はもれなく餌を得られていたようです。賢いクマタカの一例です。

「怖いクマタカ」

盛岡市在住の関山房兵氏（猛禽類調査の権威）から聞いたお話です。

岩手の若手鳥類カメラマンが、営巣中のクマタカを確認して、良い画像を撮るため普段の撮影距離より思い切って近くまで寄ってみたそうです。

すると突然巣の中のクマタカが飛び出して、正面から襲いかかってきたとのことで、彼は三脚とレンズカメラを楯にして防ごうとしましたがクマタカはそれをかわし、彼の頭部に爪をけり込みました。彼は倒れ込み頭部の出血を抑えて病院に走り、数針縫う処置後に関山氏に報告したとのことです。クマタカのけりの強さは野球の木製バットでお尻を叩かれた程の強さであったとのことです。

クマタカが森林の中で餌採りのために飛行する際には、小枝をへし折る音が聞こえる事もあるとのことで、特に抱卵期や育雛期には、十分な注意が必要です。

生物暦（2023年）		6月		☀️☁️☔️：天気		植物		野鳥		動物		昆虫		は虫類・両生類																	
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
観察できたもの	ミヤマカラサアゲハ・オナガアゲハ	カンボク・オオハナウド	キビタキ・アカシヨウビン	サワフタギ・オオハナウド	ウスバシロチョウ・オナガアゲハ	ウスバシロチョウ・エソハルゼミ	アナグマ・キツネ	ウスバシロチョウ・キセキレイ	ウスバシロチョウ・ハナムグリ	カラサアゲハ・タニウツギ	アナグマ・サンカヨウ	クロヒカゲ・ニホンカワトンボ	ヒメクロサナエ・オナガアゲハ	タヌキ	カケス・オオルリ・シジュウカラ	スジクワガタ・キイロスズメバチ	アカシヨウビン・キビタキ	ダイミヨウセセリ・アカタテハ	トラフジミ・ミヤマカラサアゲハ	ウリノキ・エソハルゼミ	ニホンザル・アカシヨウビン	サイハイラン・コケイラン	オニシモツケ・ウリノキ	タヌキ	タヌキ	タヌキ	アカシヨウビン・キセキレイ	ルリシジミ・コチャバナセセリ	メスアカミドリシジミ・タヌキ	タヌキ	アイノミドリシジミ・ミドリシジミ
天	☀️	☀️	☔️	☀️	☀️	☀️	☔️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☔️	☔️	☀️	☀️	☀️	☔️	☀️		